

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	岸和田探光学園	階数	地上2F
建設地	大阪府岸和田市三ヶ山町	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	80 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,840 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年6月 予定	評価の実施日	2024年2月1日
敷地面積	14,130 m ²	作成者	五味 堯穂
建築面積	2,364 m ²	確認日	2024年2月5日
延床面積	4,181 m ²	確認者	森岡 孝好



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
2階建の障害者支援施設を計画する 緑豊かな周辺環境や既存棟に合わせた落ち着いた外観・ボリュームの建築物とする。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
利用者用居室には引違い窓を設け、ディスプレイや廊下にトップライトを設置することで、採光・換気・排煙を確保する。引き違い窓にはロールスクリーンを設置し、昼光を制御する。	設計段階で共用部パースを作成し、空間提案の合意を行っている。 床は基本的にビニル床シートを使用し、清掃性・維持管理のしやすさを考慮している。	建物南東側に緑地を設け良好な遊歩道となるよう計画している。 建物2階から東側の緑地にアプローチできる計画としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
トップライトを採用し、換気に活用する。	CO ₂ 排出量低減やリサイクルを実践した内装材を採用する。	低層建築物とし、風を遮りにくい形状としている。 駐車台数を11台確保し、周辺交通への影響を低減する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	岸和田採光学園					
	建設地	大阪府岸和田市三ヶ山町					
	用途/区分	病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.5	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.9	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		